

IPW緩和ケアコース 多職種協働 事例検討研修

日時 2026/ **3/14** 土 申し込み締切り：3月7日（土）

第6回 **終末期鎮静療法とSDM** **13:00-16:00** (全6回)

事例 Aさん(55歳)は乳がんで多発脳転移があり、中枢神経の反回神経障害の声帯麻痺状態となった。そのため呼吸苦が憎悪し、気道狭窄音も聞かれるようになった。耐え難い苦痛でAさんは、迷いながら「鎮静療法」を選んだが、その訴えは2転3転し、家族の苦情の多さも相まって、医療者は困惑し疲弊した。
終末期の鎮静療法における、SDM(共同意思決定)を考えます。

講師 国立がんセンター中央病院 緩和医療科医長 石木寛人氏

会場 オンライン
(ZOOM)

対象 医師・看護師・
MSW・薬剤師など

5/10 土 ケミカルコーピング

事例 認知症高齢者のAさんに積極的
化学療法がなされている。家族
の要望ではあるけれど…

講師 京都大学 臨床倫理准教授

7/12 土 麻薬：
ケミカルコーピング

事例 痛みの訴えと易度性が高くなって
いるAさん。これは医療麻薬の依
存症？医療者は巻き込まれる

講師 金沢大学病院 専門薬剤師

9/13 土 「怒り」の
予先になる時

事例 BSCを告げる時、激しい「怒り」
で、治療継続を求めるAさんと
家族にどう対応する？

講師 がん研有明病院 精神腫瘍科部長

11/8 土 AYAの治療拒否

事例 AYA患者のAさんは、治療を拒否
する。家族は治療希望で医療者
間でも意見が分かれて…

講師 聖路加国際病院 小児科部長

1/10 土 多問題家族：
ヤングケアラー

事例 家庭内別居のAさんは、長男(中
学生)を頼りに療養し、病院への
付き添いも長男である

講師 がん研有明病 がん看護専門看護師

申込

長野北信がんプロホームページの「受講者の方へ」から、または右のQRコードからお申し込みください。その際に、申込みフォームお問合せ欄に、第何回を受講されるかを記入してください。 例：第6回希望 など

